

## 第8回世田谷区地域経済の持続可能な発展を目指す会議

日時：令和5年12月18日（月） 18時00分～20時00分

場所：三軒茶屋分庁舎3階 教室

### ■ 出席者

〈委員〉

長山会長、古谷委員、千葉委員、竹内委員、見城委員、中山(耕)委員、兒玉委員、市川委員、田中委員、中山(綾)委員、吉田(亮)委員、大藤委員、吉田(凌)委員

〈世田谷区〉

岩本副区長、後藤経済産業部長、納屋産業連携交流推進課長、高井商業課長、荒井工業・ものづくり・雇用促進課長、黒岩都市農業課長、平原消費生活課長

### 1. 開会

#### 【納屋産業連携交流推進課長】

定刻となりましたので、只今より「第8回世田谷区地域経済の持続可能な発展を目指す会議」を開催いたします。

皆様、年末のお忙しい中、ご参加をいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、城田委員、松原委員、大石委員が欠席となっておりますが、全体の2分の1以上の出席をいただいているということで、会議規則に基づき、会議を開催させていただきます。

まず、配付資料でございますが、次第の下部に記載しておりますので、こちらに沿いまして、ご確認いただきますようお願いいたします。不足がございましたら、事務局までお申し付けください。

本日の座席につきましては、委員名簿に記載の順番で配席させていただいておりますので、ご了承いただければと思います。

それでは、今後の議事につきましては、会長に進行をお願いしたいと思います。長山会長、よろしくをお願いいたします。

#### 【長山会長】

皆さん、こんばんは。

本日、第8回会議ということで、本日も積極的な議論をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、答申案について主に議論いただきたいと思います。

10月5日の第6回会議で一旦、答申案が示されたところですが、その後の11月下旬の第7回会議を踏まえ、本日改めて議論いただきたいと思います。

まずは、配布資料について、事務局より説明をお願いします。

【納屋産業連携交流推進課長】

資料3の答申案につきましてご説明をいたします。

3ページ目、をご覧ください。

まず、1が、本答申についての位置付け、2が世田谷区の地域経済や産業の現状と抱える課題について記載をしております。

ここは基本的に、前回までの答申と大きく変更はございませんが、(1)で地域経済を取り巻く状況ということで、地域経済循環の向上を図ることが重要であるような旨を記載してございます。

4ページ目に移っていただきまして、区内の産業構造や業種構成に関して、全体的な事業所数は横ばいもしくは微減傾向になったり、これまで事業所数の多かった卸売、小売、飲食サービス業などが大きく減少していること、一方で、医療福祉業や教育・学習支援業、情報通信業などは増加傾向にあり、産業の多様化が進んでいることなどを述べてございます。

5ページ目の中段からは、融資あっせんの話ですが、コロナ禍において多数の融資あっせんを行ったこと、また、代位弁済が増加傾向にあるということなどをグラフともに述べてございます。

6ページ目につきましては、倒産件数が増加傾向にあるということ、7ページ目は、(2)事業者を取り巻く状況ということで、ここは11月末の会議を踏まえて大きく新たに追記した部分ですが、全体として個々の事業者が抱える課題としては、人材確保、採用強化に関して非常に大きな課題感とニーズを持っていらっしゃるということであったり、業務の効率化であったり、人材育成、そういったところにも関心、課題感を持っているということで、人手不足、人材確保に関する課題が極めて重くのしかかっていること、この課題をどう補うか、どう対応するかということが極めて重要な課題ということでございます。

7ページ目の、下の部分からはDXについて消極的な事業者が多いということや、ICT活用についても同様の状況であるということ。また、8ページ目には、SDGsに関する問題意識や認知度についても、認識等が低い傾向にあるということでございます。

9ページ目の中段は、社会課題や地域課題のところですが、非常に高い関心を世田谷区内の事業者は示していらっしゃるというグラフとなっております。

10ページ目の(3)が雇用や働き方をめぐる状況ということで、テレワークの実施状況や兼業・副業の実施状況、また起業創業の意向などを示しております。これらは基本的には前回までと同様でございます。

11ページ目の(4)将来生じると予想される地域経済を取り巻く変化につきましては、これは、第3回会議の議論や前回の議論を踏まえて、加筆修正をしておりますが、将来生じると予想される地域経済や地域産業を取り巻く変化ということで、デジタル化、AI活用、気候変動等々の様々な変化が生じるということ、さらには、それが、実際に地域産業や事業活動に大きな影響を及ぼすということでございます。

さらには、正の影響は取組み、負の影響は脅威を正しく理解した上で、最小限に抑えるような認知や対応が必要であるということに記載してございます。

11ページ目の下は、各産業を取り巻く状況ということで、これも前回の11月の会議を踏

まえて新たに立てた項目でございますが、商業、工業、農業、建設業について、前回お示した資料を改めて添付をしております。

最初が、商業全体の話として、売上の減少が大きくなっていることや、人手不足と業績不振に対して課題を持っている状況などを述べております。

13 ページ目は工業分野についてですが、事業所数が大きく減少していること、従業員数が大きく減少していること、また、土地利用についても準工業地域における工業用地の面積が大きく減少していることや、さらには、代表者の年齢が高齢化していることを課題として追記しております。

14 ページ目には農業の記載をしております。環境の変化や高齢化、後継者不足、そういったところが慢性的な課題となっているということでありました。

15 ページ目は建設業についてですが、こちらも、事業所数、従業員ともに、横ばいという状況であり、高齢化が進んでいると、さらには、採用活動を行っているが、なかなか採用が難しいという状況であったり、さらに、2024年の4月からの働き方改革関連法の施行に伴う時間外労働の上限制限が適用されることにより、さらに人手不足が加速するという課題感を記載しております。

17 ページ目からが、今までの課題を踏まえて、今後の方向性ということで記載をしております。

まず、(1)が検討にあたっての背景が前提ということで、最初は現行産業ビジョンについて記載をしていたり、18 ページ目は条例について記載をしているものでございます。ここも前回までとほとんど変わりませんので、説明は省略させていただきます。

19 ページ目の、中段の(2) 条例理念の実現に向けた考え方のところでございますが、ここは、前回までの会議を踏まえて、新たに立てた部分となります。

考え方としましては、1パラのところですが、地域経済の持続可能な発展を実現にするにあたっては、基本的方針1を軸とする産業活性化を中心に、その実現を図ることが重要と考るということで、様々な課題を掲げてきましたが、これらの課題の解消や低減を図ることにより、既存産業を中心とする産業の活性化を通じて、地域経済の持続可能な発展に取り組むことが重要であるということでございます。

具体的には、資金、人材、企業構造、これはデジタル化とか設備投資なんかを企業構造と書かせていただきましたが、これらについて課題の解消や低減、もしくは活動の円滑化などを通じて企業活動を活発化していく必要があると。

さらにその上で、情報であったりインフラ規制なんかの課題解決に向けた取組みが、企業活動のさらなる活発化につながっていくということでございます。

企業活動の活発化は雇用につながり、域内での雇用は消費につながるなど、地域経済循環の基準点となるものが産業の活性化であると位置付けてございます。

さらに、そこに世田谷の強みや魅力発信などを重ねることで、経済循環を太くしていくことが大切だということで記載をしております。

その上で、基本的方針2から4に関する考え方や取組みを付加することで、世田谷の特徴を兼ね備えより高度な水準の持続可能な地域経済の構築ができるんじゃないかというこ

とで、これを事業者、区民、関係機関、行政などが一体となって取り組むことで、世田谷らしい社会を作っていくということを、この条例の理念の実現に向けた考え方として位置づけることが大事だということを、新たに位置付けました。

20 ページ目には、今申し上げたことを絵で書いてございます。まだこなれていない部分もございますので、またアイデアなどもいただければと思っております。

20 ページ目の(3)のビジョン・展望というところに関しましては、これまでのところと大きく変わりございませんので説明は省略させていただきますが、世田谷のウェルビーイングを、先程の(2)のようなどころでもって、実現していくということを書かせていただいております。

21 ページ目の(4)大切な基本の考え方ということで、これも大きく変わってございませんので説明は省略させていただきますけども、ビジョンを見据えて、取組みを展開していくにあたっての大切な考え方を図のような形で示しているということでございます。

(5)の大切な視点ということで、個々の政策を実施していくにあたって、政策課題の重要性や必要性、緊急性、波及効果などの観点から、優先順位をつけて実行していくことが重要と考えてございます。さらには、今後必要な取組みを推進していく際に、横断的な5つの大切な視点を整理しました。

これも、1から4までは前回までと変わりませんが、横串としての地域経済産業政策の視点を持つということであったり、インパクトの視点ということで、多様な影響を考慮して政策の企画をしていくということ、ユーザーの視点ということで、情報発信の話なんかもございましたが、如何に使いやすいものとしていくか、官民共創の視点ということで、これも行政だけではできないことが増加してございますので、官民連携で如何に取組みを進めていくか、さらには、これをプラットフォームというツールを使いながらやっていく必要があるということも位置付けております。

最後に、ブランディングの視点というのを追加をしております。これは、前回会議で魅力や強みをしっかりアピールしていくことが大切だと。それで、それに伴い自然と人も集まり消費にもつながるということで、そういう大きな絵を描く観点から、そういうことを政策の企画立案にあたっては、根底において考えるべきだということで新たに追記をしております。

22 ページの後段から 23 ページあたりは、今の話に至った意見を引っ張ってこさせていただいているということでございます。

25 ページ目からは、各分野における政策の方向性ということで、まずは1、多様な産業基盤の強化に向けた考え方ということで、これももう今まで述べてきたところを改めてとなりますが、既存産業の活性化を図る政策を強化すべきだということで、強化にあたっては、事業者の課題である 資金、人材、企業構造の課題の解消であったり、低減を後押しすることに加えて、それを下支えする情報の問題やインフラなどの問題に正面から取り組むことが必要であるということも記載してございます。

また、連携、連関による新たな価値の創出の視点を強く持つことであったり、コミュニティや学びなども連携させることで、世田谷の産業の「らしさ」というのを付け加えて、

次のステージに後押しするような、そういったことが必要であるということや最後のパラグラフのところ、商店街の公共的役割、そういったところの、後押しをすることが必要じゃないかということでございます。

26 ページ目の 2 は、多様な働き方の促進に関する考え方ということで、多様化する働き方やライフスタイルに対応した土壌や環境を整えることが、世田谷らしさにつながるということや、労働者保護の観点なんかを前提としつつ、多様な働き方ができる環境を整備すべきだというようなことを整理してございます。

27 ページ目の 3 は企業創業の促進に向けたところでして、チャレンジやアントレプレナーシップの醸成を促す環境整備、4 の社会課題・地域課題の解決に向けたソーシャルビジネスに関する考え方のところは、社会課題や課題感に強い意識を持ってらっしゃる方が多数いらっしゃるということで、そういう環境整備をしていくということ。

28 ページ目の 5 は持続可能性を考慮した事業活動やエシカル消費促進に関する考え方ということで、SDGs の行動が世田谷の産業や事業者の価値を高めることにもつながるということから、ブランドや強みにも繋がっていくのではないかとということ、⑥のチャレンジの促進とその応援に関する考え方ということで言うと、チャレンジを後押しすることで地域全体に好影響を及ぼす一面があるので、しっかり後押しする必要があるんじゃないかということなどをまとめてございます。

30 ページ目の (7)、目指す姿と実現に向けた取組みということで、目指す姿を設定してございますが、ここは、前回の議論を踏まえ、1 つ目の柱に新たに設置をいたしました。

その上で、他のところでちょっと重複感がある部分があったので、整理をする形で 12 の目指す姿として整理してございます。

31 ページ目からが、それを落とし込んでいったものでございます。

例えば、基本的方針 1 の 1 ということで、地域を支える産業が活性化し、活力ある世田谷区を目指しましょうという中で、どうやって実現を図るかということで、商業の活性化ということや製造業の活性化、農業の活性化というような形で新たに項目を立ててございます。

あとは、概ねこれまでご説明している部分ですので、飛ばさせていただきます。

飛ばして、次に 49 ページ目をご覧ください。

推進体制と役割の部分についてです。

(1) の、2 パラのところで、PDCA を回して評価、検証して、本会議に定期的に報告するよう、ということや、(2) の指標を策定するというので、ソーシャルインパクト指標を設定するという、(3) で、指標の結果を踏まえた政策の見直しと展開、これも前回の 11 月の会議でございましたが、より重要なところに注力していくべきということで考え方を記載しております。

長くなりましたが、説明は以上です。

## 【長山会長】

これまでの議論を取り込んだ修正をした。答申全体の方向性がこれまでの議論としてしっ

かり踏まえられているかという観点からそれをチェックしていただいて委員の皆さま方のコメントを頂戴したいと思います。

会議という事で、決めるという事が必要となります。今日は答申の合意を得られればと思っておりますので、その観点からご意見等をいただければと思います。

特にポイントとしましては、11月の下旬に改めて議論を加えた、20ページの図表45。ここを11月の際には話し合っただけでまとめている。ここがまず一つチェックすべきところ。

各分野における政策の方向性、25ページの産業基盤の強化というところ（点線で囲われている所）に関して、11月の下旬に話した内容がかなり反映されている。方向性だけで、まずはしっかりと合意を得るということが肝要かと思えます。

具体的に課題解決、アイデアはまた今後という話で、今回は扱いませんが、まずは方向性というところで、ご意見を賜ればと思います。

それでは、委員名簿の順番で行きたいと思えます。

古谷委員よろしくお願ひいたします。

#### 【古谷委員】

細かいところまで見きれていないのですが、方向性としては違和感なく、すごくご尽力をいただいて完成度の高いものになったなと思えます。

違和感があるのが「ウェルビーイング」という言葉の使い方が、私の認識と違うように感じるので、どこかで定義を出してもらうか、日本語に変えるかした方が良い。何か所か出てくるのですが、「ウェルビーイングの向上」と言われると少し違和感がある。

内容としては、議論はございません。次の課題として、どう世田谷区が対応するのか、各産業が対応するのか、具体的に「こういうアイデアがあります」とか、「ないです」とか、という話がどの場面で方針にくっついて繋がっていくのかということまで書けると具体性が持てるかと思う。現状の分析があって、次にビジョンがあって、そして具体的にはこうしたい、というものがあって、それを実現するためには「どうします」というのが本当は欲しい。組み立てとしては凄くよくできていて、今見た感じでは、文句を言うところはございません。

#### 【納屋産業連携交流推進課長】

ありがとうございます。

「ウェルビーイング」のところは、この場で考え方を申し上げることができないので、ご指摘を踏まえてどのような修正・追記をした方が良いか改めて考えさせていただければと思います。調べて適正な表現・使い方となるように考えさせていただきます。

もうひとつ、次にどのようにしていくのかということについてですが、この会議が始まる前に想定していたのは、答申では大きな方向性までを定義をして、それを区側が受け取って具体的な政策として「どういう風なものをやっています」というものを示していくのかと思えます。むしろ、新しい産業ビジョンで、区側が策定していく中で、そこはお示しさせていただく。そこはまた後程ご説明させていただきますが、まさに答申が出来た後の次のス

テップとして、そこを議論していただいたり、ご相談というのをさせていただくのがいいのかなという風に考えています。

#### 【竹内委員】

まとめていただきありがとうございます。修正が加わっていて、よくなっていると思います。かなり具体化され、この間の議論が反映された内容になっていると思いましたので、このまま、まとめていただければと思います。

#### 【見城委員】

前回から変えていただいたところであったり、新しく加えていただいたところだったりを中心に拝見しました。すごく丁寧に書かれていて、前回2回分の意見を、分かりやすくまとめてくださっていると思っています。それに至った経緯なども書き込んでいるところが更に分かりやすさを増しているというか、それだけだとちょっと伝わりにくいところだったりとか、思いが伝わらなかつたりする部分なんかを、そこでカバーされているなと思うので、特に何か気になるところは今のところございません。

#### 【中山（耕）委員】

非常によくまとまっていると感じました。特に22ページのブランディングの視点が非常に良いと思っています。ブランドマーケティングという手法がありますが、価格競争から脱却したり、差別化を図ったりすることで、持つ人の幸せを高めてファンを増やすということです。こういう形で世田谷区をブランド化出来れば、そもそものブランドがありますので、人がより集まって産業も活性化すると思います。既存の産業にもしっかりと触れられており、非常に良くなったと思いますので、異論はございません。

#### 【兒玉委員】

11月の2回の会議で、既存産業の課題とか問題点とか、そのあたりを拾い上げていただいたのが、盛り込まれていて、一方でそういうベースがあるから、新しく起業できるという、また会議の中でよく出ていた「世田谷らしさ」というところも、だいぶ加筆されているのでいいかと思います。

#### 【市川委員】

大きな方向性については、特に意見はありませんが、20ページの図表45。これもすごくいいなと思いました。「働き方の問題」のところだけ、もう少し何か書けることがありそうだなと思ったりしていますので、その更なる充実という意味で、この辺についても少し深掘りできれば良いと思いました。世田谷で働いている人は少ないとか、その辺の状況はちょっと分かっていませんけども、そういう意味で細かい変更とか、あと先ほどお話にも合った「ウェルビーイング」という言葉の定義など、そのあたりについてももう少しブラッシュアップされるといいなと思います。

**【田中委員】**

本当に丁寧に私たちの議論を拾っていただき、こうやって整理していただいております。ありがとうございました。内容に関しては言う事なしで、非常に丁寧な内容になっているなという風に感じました。最後の49ページの「発展ビジョンの推進に向けて」というところに入るのかもしれませんが、世田谷区の行政だけに出来ることってというのが非常に限られていて、この答申が産業ビジョンになって、それを我々含め市民の皆さん、あといろんな事業者の皆さんとがどのように関わっていくのか、これをもう少し後押しできるようなことを答申の中で言っていた方がいいと思います。そこをもう少し強められると良いと思います。

ただ、世田谷区の行政から「発信されて終わりです」、みたいな感じになるのが非常に残念に思うので、これが市民の皆さんと関わりたいから、こういう情報があって、関わるにはこういう事が可能である。というところまで出てくると、もう少し幅広く発展して推進されるというような、少しでも入っているといいなと思った次第です。

**【納屋産業連携交流推進課長】**

ありがとうございます。

ご意見踏まえて、確かに我々もこれはもちろん行政の中での方針をきちんと決めるというのも一つの役割ですけれども、やっぱり事業者の皆さんと世田谷の産業をどうしていくかということの背骨にするものだと思っています。具体的にどうするか、考えさせていただいた上で、努力したいと思っています。

**【中山（綾）委員】**

ありがとうございます。これまでの「世田谷らしさ」について追加で議論させていただいた部分もすごく盛り込まれていて、納得感があり、根拠が示されているなっていうのを感じたので、内容について全く異論ございません。

ここまで色々追記していただいて、これまでの経緯を振り返ると、21ページの上の方にあります。「幸循環 共創区 世田谷」っていうフレーズ絵や図で示されたことで、とても言い得ていると思ったところもあります。そのため、文中でさらりと書いてあるのは少しもったいないと言う気がしたので、「ウェルビーイング」の囲みの大きなところまではいかないかもしれないですが、何かもう少し目立つような図とセットに示されるとイメージが湧きやすくていいと感じました。

**【吉田（亮）委員】**

ありがとうございます。私も他の委員の方と同じく異論ありません。

一点質問があって、49ページの4(2)の評価指標の設定と測定・評価というところで、重点事業ごとに成果指標と目標値を定めて、目指す姿ごとにソーシャルインパクト指標を示すというやり方について。これは、二つの指標を設けると言っている。そのソーシャルインパクト指標というのは、事業ごとには設けず、目指す姿に対してソーシャルインパクト指標



と施策に対する成果指標。二つ用意して評価する、ということが複雑で分かりにくいなと思って、質問でした。

**【納屋産業連携交流推進課長】**

ありがとうございます。ここが少し分かりづらかったかと思います。新しいビジョンの検討を並行してやっていて、そっちの方でこの答申を受けて個別の施策というのを並べていて、個別の施策はたくさんあるのですが、その中でも目指す姿を実現する上で重要なものを重点事業という定めをしております。重点事業に関しては、何とかプロジェクトというものに関して、それぞれ目標を設定する。例えば目指す姿1にも重点事業が複数ある形になります。

それを総合的に捉えたものが、この「ソーシャルインパクト指標」という形になっていて、「個別の政策の指標」と「目指す姿ごとの指標」というのがあるという形です。これは、口頭での説明だと非常に分かりづらいので、後ほど相談させていただきます。

次回会議を設定させていただいた時に、新しいビジョンを出させていたかどうかと思っています。その中で、細かくこういったところを見える化して、出させていくことを想定して作業をしておりますので、そこでまた明示させていただければと思っています。

**【大藤委員】**

私も他の方と同様に全体の内容としては凄く仕上がっているなと思っています。特に異論はないです。ありがとうございます。

表面的なところになるのですが、一点思ったところで言いますと、今回アップデートの議論の中心に「世田谷らしさ」があったと思っています。内容としましても、盛り込んでいただいているのかなと思いますが、パッと資料をめくった時に、「世田谷らしさ」が、そこまで印象として入ってこないのも、もったいないと思う部分があります。図表45なのか、21ページ図表46の中なのか、そういったところに「世田谷らしさ」というような文言を入れてもいいと思いました。

**【吉田（凌）委員】**

細かいところまで修正されていて素晴らしいなと思います。

僕は議論に参加していたから分かるということもあるのですが、初めて参加する方からみると、21ページの「わくわく感と期待感」というところと、その後の（4）と（5）書いてあることが一緒に気はして、「大切な基本の考え方」と「大切な視点」がどう違うのか分からないと思いました。24ページにまとめて図で書いてありますが、そこにも（4）の要素があんまり含まれていないので、ここの連続性が、どういう風にかかれるのかなというところはもう少し考えた方がいいのかなと思いました。

**【納屋産業連携交流推進課長】**

ありがとうございます。おっしゃるとおり分かりづらいので、もう少し整理をしたいと思

っております。

ページで言うと39ページ目に記載をしていて、皆さん分かっていらっしゃるという前提でお話をさせていただいていると思うんですけど、今こういう形で施策の根底にあるのが左の図で、さらにそれをどういう風に優先順位をつけていくかというのが、オレンジのところだと考えていますが、分かりづらいので、もう少しフレンドリーな書き方をさせていただこうと思います。ありがとうございます。

#### 【長山会長】

では、千葉委員。答申についてこれまでの議論を踏まえてチェックしていただいているところですが、ご意見をお願いいたします。

#### 【千葉委員】

基本的な内容についてちょっと色々と変わった部分含めて確認させていただきました。工業の立場から概ね色々と入ってきた部分もあるので、この部分は実際進んでから出てくる部分もあると思うのですが、これから先の話を見せていただきます。今話すことではないとは思いますが、事前にこちらも考えておかなきゃいけないこととして、SDGsとかエシカルのことに関して啓蒙的な部分が足りないので、当然書かれていることをやらないといけないんですが、そのやるためのスタートラインを考えなくてはいけないと考えております。それを答申として出すので、そこについて我々の方もどういう風にしたら、儲かるか儲からないかという視点ではないところでの話となるので、その部分のやり方を含めて当然連携していかないといけないかと思いました

#### 【長山会長】

色々とご意見ございましたけれども、いくつか修正点というのはもちろんあるかと思えます。とは言え、重要な方向性については、概ね一定の合意は得られたのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか？もしよろしければ、これで答申を案として区長の方にお返しするということになりますが、いかがでしょうか？

全員、了承

#### 【長山会長】

ありがとうございます。それでは、今日いくつかいただいたご意見、修正すべき必要などころは、私の方で確認をしていきたいと思えます。それでは、これで答申案は、この会としては合意を得たという事で、ありがとうございました。

続きまして、もう一つ資料がございまして、この答申を受けてから策定するビジョンというのがございます。そのビジョンの素案が、お手元にありますので、事務局よりご説明をお願いいたします。

### 【納屋産業連携交流推進課長】

参考資料で、11月15日時点としてございます。従って、今合意をしていただきました答申の内容は踏まえておらず、10月の第6回会議までの議論を踏まえたものとなってございますので、あくまで古い、最新のものではないという前提で、答申を受けて区側が作ろうとしている、その新しいビジョンの枠組みについてご報告させていただきたいと思っております。

目次がございしますが、2ページ目のところで策定にあたってという部分や、(2)の計画期間というところで、答申を受けて我々としては8年の新しいビジョンとして設定をしていくようなことを書いていたり、(3)は位置づけという形でございますけども、この経済産業分野のビジョンは今まさに区の本体で議論がされております、基本計画というものがございまして、それも8年計画でございしますが、それが4月から策定されることとなってございます。基本計画の経済産業分野の分野別計画という位置づけも担うものとしてこのビジョンを策定していきたいと思っております。

3ページ目の「2. 地域経済や産業の現状と抱える課題について」は、今は古いバージョンですが、基本的に答申のものをそのままいただく形で現状把握に替えさせていただきたいと考えております。

次に11ページ目に移っていただきまして、中段のところ、方向性というものがございします。これも古いバージョンですけれども、これも答申をいただく形で区側の考え方に、ほぼほぼそのままだと思いますけれども転用させていただく形でビジョンを策定させていただこうと考えてございます。

13ページ目も視点の話や考え方の話、こういったところも更新はさせていただきますが、行政が政策を考えるにあつたての大切な考え方をいただいきたいという風な内容でございします。

16ページ目の(5)「目指す姿」と「実現の方向性」というところから、少しだけ形が変わりまして、目指す姿も基本的には答申で議論いただいた内容を区としても「目指す姿」として掲げていきたいと考えてございまして、17ページ目からもう少しブレイクダウンしますが、17ページ目は、「基本の方針1」に関して、「現状と課題」を改めて整理をした上で、「政策の方向性」大きな方向性を記載し、目指す姿としては4つ掲げます、という事をまず前段で整理をしていきたいと考えております。

19ページ目からは、この中で「目指す姿1」についてはという事で、点線四角囲いの中で、例えばセーフティーネットの充実というのは、これは答申でいただいた考え方ですが、それを融資あっせん制度の拡充や、窓口の充実に取り組めます、という形で、もう少しだけブレイクダウンした形で、実際に何をやるのかというのをビジョンでは書いていきたいと思っております。それを20ページ目の枠組み、枠だけあるところですけども、具体的な事業名であったり、プロジェクト名を記載して、その内容と目標と目標値を重点事業、この「目指す姿1」についても非常にたくさんの施策、我々既にさせていただいているものと、将来やりたいというものも考えをいただいておりますので、その中でも特に目指す姿の実現に寄与するものを、重点事業として設定をして、いくつか整理をしていきたい。その上で、評

価値指標というのは、先ほど吉田委員からご指摘のあったような目指す姿を計る大きな指標というものを、ロジックモデルを組んで設定をしていきたいと、現時点ではまだ形ないんですけども、そういう形で考えてございます。

21ページ目からは、同じような構成で「目指す姿2」についてということで、このあと「目指す姿13」まで同じような形でビジョンを設定していきたいと思っております。

で、51ページ目が、先ほどの推進と役割という事で、ここも古いバージョンですけども、指標の話をもう少し記載をするような形で、ビジョンの設定、策定をしていきたいということで、例えばビジョンの振り返りですので省略させていただきますが、基本的には答申、ご議論いただいた答申を極力そのまま区の考え方としていただきながら、具体的なものであったり、具体的な成果指標、そういったところを新たに追記してビジョンとして完成をさせていきたいと考えている所でございます。ビジョンの中身は、答申の中身をほぼそのままなんですけども、今日は枠組み、どういった形になるか、まだ具体的に示せていない部分も多分でございますけども、全体をお知らせしたいというので、参考資料として配布をさせていただいた次第でございます。

#### 【長山会長】

ありがとうございます。事務局から説明がありましたとおり、このビジョンは答申を踏まえて区側が策定するものとなります。とは言えこの発展会議の中でPDCAというところが先ほどありましたが、こちらの方もチェックをしていくという事であります。まだ11月の下旬の会議の内容というのが反映していないというものではあります、素案の段階において質問やご意見等を賜ればと思います。

特に19ページ、20ページですと、調整中と書いているところというのは、ビジョン＋産業振興計画という性格も兼ね備えているという部分になっています。そこはアクションプランというような意味合いになるという事で、先ほど古谷委員からもありましたが、この後どのように具体的な事業というかたちになっていくのか、また、吉田委員が言われていたような、それをどのような指標で計るかというようなことは、こちらの方にこれから書くということです。白紙の段階でご意見なかなか難しいかもしれませんが、答申を踏まえてというところなので、具体的なアクションや成果指標について、この段階で何か先にご意見等言っただけですと、2月の中旬の第9回の会議で示すことができます。事務局としては、色々な意見をいただけるとありがたいので挙手いただければと思います。いかがでしょうか？

ビジョンの作り方とか構成とか、諸々踏まえたところ、ご意見お願いします。

#### 【田中委員】

今調整中になっているので、これからだとは思いますが、ソーシャルインパクトは結果的には数値になるのでしょうか。

#### 【納屋産業連携交流推進課長】

ありがとうございます。ソーシャルインパクトというものを複数の指標でもって計ってい

こうと思っています。例えば、令和5年度の数値を基準値として、例えば100という指数に替えて、それが令和6年度は、50%だったところが100%になったら、単純に指数でいうと200になるということで、色んな指標を組み合わせたいので指数として表すのがいいのではないかなということ、今検討しているところです。

#### 【田中委員】

ありがとうございます。なかなかいい情報にはなると思うのですが、かなりマニアックというか、そこに興味を持って下さるように、どういう風にするのかなというのが、難しいところだと思っています。私みたいにマニアックな人ぐらしか刺さらないのではと思ってはいたのですが、次回拝見させていただきながらコメントさせてください。

#### 【吉田（亮）委員】

さっきの指標の質問とも連動しますが、まずこの指標があること自体が良いことと思っています。前回のビジョンの振り返りをした時に、こう読むと「これって達成したのかな」「してないのかな」というところが正直分からないところがあり、そういう測定可能なもので、達成しなかったから悪かった、と言うよりは、どこまで行けたのかということが計れるのはすごくいいことだと思っています。

ただ、施策ごとの目標値とソーシャルインパクトの指標が今の形だとブレイクダウンするような形になるような、要は大きい指標があって、その中でやる施策の指標が出てくるといって、ツリー構造に本当になるのかと疑問に思っています。というのは、ここにビジョンのところだと、目指す姿の実現に向けた取組みという形で、目指す姿に対して取組みがこう紐づいている形になっているんですが、取組みによっては目指す姿の1とか3とか4とか同時に関わってくるものがあるような気がします。例えば起業や働きやすさについて、中身見ると意外と両方に掛かってくるものもあるのではないかと、そのように考えると、目指す姿に対して取組みがあるという構造が本当にいいのか、目指す姿に応じて取組みは一旦みたときに、横断するものもあるのではないかと思います。

ある程度限りあるリソースを使って重点施策を絞るっていうときには、一つの施策で極論全部の姿に効くものにリソースに投下した方が効率いい場合もあるので、このあたりの取組みを整備していく時に、本当にツリー状がいいのか、横断的なものもみてその指標にどれだけ効果ありそうかで、重点施策を選ぶという、そういう考え方もあるかなと思っています。

#### 【納屋産業連携交流推進課長】

ありがとうございます。おっしゃる通り、今我々がやっている事業でほとんど全部に関係するような政策もあります。ここはまだまさに組み立てをしている最中ですが、一つひとつ目指す姿に、個々に重複なく取組みがあるというよりは、おっしゃる通り、複数のところに寄与する施策もあるので、そこは重複があってもいいとは思っているんです。目指す姿を端的に表現する指標は何だろうかという観点で、三つ四つ五つぐらいをそれぞれ掲げているので、本当は次点としてこの政策の指標は目指す姿3にも寄与するけれども、それは次点とし

て扱って、目指す姿1に寄与するならばそちらで大々的に扱っていくと考えています。まだ整理できていませんが、そのようなかたちで整理していきたいと思っています。

**【長山先生】**

基本計画の方でも評価指標というものがあり、産業分野としての評価指標を2つ出している。それを産業ビジョンでより具体的なかたちで載せていくということの理解でよろしいでしょうか。

**【納屋産業連携交流推進課長】**

基本計画で産業ビジョンの指標を2つ出しています。1つが「よりビジネスのしやすい環境と感じるようになる」ということ。アンケートで各企業様に世田谷区でのビジネス環境を聞いているので、そういったところの数字が少しでも上がるようにしていきたいというところと、もう一つがこの指標を総合的に見たときに、12ないし13の目指す姿があるのですが、これを総合化したときに、地域経済の持続可能の充実度というような全体として底上げする、例えば起業創業だけ上がって、それはそれでいいけれども、他にビジネス環境などのインフラの問題が向上したというような、なにかしら向上するとどこかで地域経済が持続可能になったということが表現しうるものだと思っています。そういうかたちで個々に評価指標が12個出てくるが、総合化したものを基本計画の指標として適用していこうと思っています。

**【長山会長】**

今日はこのような作業をしていますよ、というアナウンスになってしまっていますが、お示ししたときに具体的なご意見を頂ければと思っています。

他に、ビジョンに関してご意見いただければと思います。

**【古谷委員】**

いいと思います。「調整中」が埋まるのを楽しみにしています。

直接この話ではないのですが、何人かの発言の中で世田谷らしさという言葉が出てきます。この資料の中でも「世田谷らしさ」というのがいくつか、1~2か所出てきています。ただ、説明を求められると誰も答えられない。だから「世田谷らしさ」という言葉にすごく引っかかった。「世田谷らしさ」という言葉は普段我々も使っています。しかしながら、実体がないものを指しています。ブランディングイメージがあって、人それぞれ持っている印象が違う。集約できないと思います。この言葉をやめた方がいい。なぜそこにこだわるかというと、これを見て、世田谷を知らない人は定義がなにか気になると思います。ザクっとした話を持って行ってしまうと、イメージが変わってきてしまいます。

例えばここ、スローな企業が「世田谷らしさ」の一形態であると考えられますが、スローな企業が「世田谷らしさ」なのでしょう。これは一つの要素かもしれませんが、「世田谷らしさ」という一言で答えられないものが、一つにされてしまうことが果たしていいの

か。

なので、「世田谷だから」に言い換えて具体的にポイントに落とした方がいいと思います。必ずしも「世田谷らしさ」＝「世田谷だから」という言葉に変えるのがいいとは思いませんが。

ザクっとしたものは極力減らして、ビジョンを作っていくときに細かく具体的にしていく。それから。これまでの会議の中で皆さん具体的に自分のやっていることなどを話されていますが、そういうものが具体的にそれを指しているということが言える状態に、箇条書きにしていくとよい。ザクっとしてしまおうと言葉尻を捉えてしまおうと如何様にも話を捉えられてしまって、食い違いが始まってしまおう。具体的にこれを指すということを極力明記した方がいいと思います。漠然とした方がいいということならそれでもいいですが、決して揚げ足を取っているつもりではなくて、極力ピンポイントで何を指しているのか分かる状態にするという。

こういうものは残っていくので、後々の人が「世田谷らしさ」の定義が違ってしまうたら困るものです。内容や方向性に関しては異論はありません。ただ、そういう言葉に関してはビジョンにするときに具体的にすべきだろうし、指摘した文言も丁寧に確認してほしいと思います。

ビジョンの方向性についても文句ないので、具体的に A や B をします、これを 1 から 30 にしますといったことを書けばいいと思います。

**【長山会長】**

後藤部長、いかがでしょうか。

**【後藤経済産業部長】**

古谷さんがおっしゃっていたところは、議論の中で、例えば住宅街と都市機能が共存した区であるとか、23 区の中でも都市部と周辺区で様相が違おうとか、そこで完結する住みやすい街であるというキーワードが出てきていると思う。そこを見える化して分かりやすく表現できればいいかなと思っています。それがより丁寧な説明に繋がっていくと思うので、中でも話し合っている表現があったらまたご相談させていただきたいと思っています。

ビジョンもそういった部分を意識して引き続きつくっていきたいと思っています。具体の指標についても、納屋から説明が合った通り、進めている部分がありますので、できるだけ早く皆さんに見ていただき、会議の場で皆様からご意見いただければと思います。

**【長山会長】**

田中委員お願いします。

**【田中委員】**

産業ビジョンは 8 年続くのだなと改めて思いなおすと、「ウェルビーイング」や「世田谷らしさ」という言葉は 8 年後には変わると思う。8 年後に「ウェルビーイング」があるか、

言葉自体が通じるレベルかということも怪しいと思っています。「ソーシャルデザイン」という言葉もこの5年で広がりましたが、5年前は誰も知らないような言葉でもあったので、この10年や5年の変化はとても大きいです。

そういった意味では、定義することも必要ということプラス、この言葉の捉え方はその時その時、人それぞれで違うということが前提で、要はそういったことを会話しながら、価値観を理解しあう、すり合わせをするということがこれからは大事だと思います。そうでないと共創も起こらないし、答申で示しているような、行政とともに、事業者とともにというような社会的なアクションに繋がらない。

「ウェルビーイング」の捉え方や「世田谷らしさ」の捉え方は事業者やその取組みごとに捉えられていくのかなと思っています、時代や人それぞれの捉え方も大事であるということ定義の中で伝えることができるといいと思います。

**【長山会長】**

他、いかがでしょうか。

**【中山（綾）委員】**

多様な働き方というワードについて拝見していたのですが、ビジョンの29ページに目指す姿5として、「多様な働き方が選択できる世田谷区」とあり、一番下の「子どもと親が同空間で働くことができる場の整理に取り組む」とありますが、答申の中では「産業分野からウェルビーイングに貢献する世田谷区」という文脈に書いてあります。職業体験的な書き方なのであれば、文脈的に合っているとは思いましたが、このライフスタイルに応じた多様な働き方が選択できるという中に、これが落としどころになってしまうと、子連れで働ける企業応援のようなかたちで答申とずれていたりしないかなと思って、唐突感を覚えました。

これは多様な働き方の選択肢としての取組みの例示になりますでしょうか。

**【納屋産業連携交流推進課長】**

同じことを我々も思い、先ほどお示しした答申の方が我々の整理した考え方になります。ビジョンは1か月前に作ったもので、子どもに関してはライフスタイルのところ当初位置づけていたのですが、改めて答申の中で整理をしていくと、12番目の目指す姿にある方が適切だろうということで、最新のものでは移管させていただいているということでございます。

**【中山（綾）委員】**

理解しました。これで進められてしまうと仕事にならなさそうだなと思っていたので、個人的な意見でした。ありがとうございました。

**【長山会長】**

いかがでしょうか。ビジョンは11月15日時点のものということで、この内容は今日合意



いただきました答申に沿って大幅に変わることはないと思いますのでご了解いただければと思います。

閣下のご意見ご質問をありがとうございます。

ここからは事務局からの連絡事項をお願いします。

**【納屋産業連携交流推進課長】**

日程の話をしていただきたいと思います。資料4をご確認ください。次回の予定ですが、2月上旬もしくは中旬頃に会議を開催させていただきたいと思っています。別途日程調整を行います。

その際には、先ほど素案というかたちでお示したビジョンの案について完成に近づいたものをお示しし、ご審議いただきたいと考えてございます。

それにつきまして、先ほど後藤より申し上げた通り、少し早めにお送りさせていただき、予め皆様にご確認いただけるように準備を進めてまいりたいと思っています。

本日の会議録につきましても、いつもどおり皆様にご確認いただいた上でホームページに掲載させていただければと考えております。

**【長山会長】**

最後に、本日は岩本副区長にご参加いただいておりますので、総括させていただきたいと思っております。

**【岩本副区長】**

熱心で幅広いご議論をありがとうございます。後半、どうしても出席できないことが続いたのですが、予定の会議を超えてご議論いただきました。これから区として行政計画を作らないといけないわけですが、この間のご議論をいただいたうえで、答申のテーマをより明確にさせていただけたのかなと思っています。8年間の行政計画というものは、今時そんな計画はないのではないかというご意見もありますが、まずは目標を定めて計画を作って、計画が予算に関わってくるようになっていきます。具体的な取組みを作り、来年2月にビジョンについてご意見いただければと思っています。答申をまとめてくださって、ありがとうございました。

**3. 閉会**

**【長山会長】**

それでは第8回地域経済の持続可能な発展を目指す会議はこれにて終了いたします。本日はありがとうございました。